

第回学校評議員会だより

平成 28 年 6 月 13 日
藤野北小学校

学校評議員会は、学校が地域の方々の信頼に応え、家庭や地域と連携・協力し、一体となって児童の健やかな成長を図っていくため、また、地域の方々からの協力を得て、より一層地域社会に開かれた学校づくりを推進していくために設置された制度です。

本校では、第1回学校評議員会を6月9日（木）に開催しました。

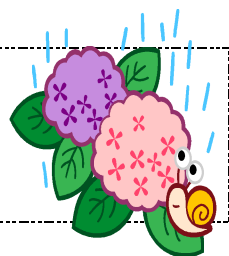
【出席者】

【28年度学校評議員】（敬称略）

- ・井上 一郎（自治会代表） ・西村 輝巳（澤井公民館長）
- ・赤土 弘（佐野川駐在所）・佐々木奈美（民生児童委員）

【学 校】

- ・佐藤正文（校長）・元山雅治（教頭）・佐藤玲子（総括教諭）



<学校からの報告>

○学校経営について（校長）

- ・学校教育目標「心豊かで たくましく 実践力のある児童の育成」
～ ワクワク・ドキドキ・笑顔いっぱい・夢いっぱい ～
- ・朝登校してからの挨拶など、北小の伝統を感じる。
- ・朝から体を動かすことで、脳を目覚めさせるという活動に取り組んでいる。
- ・自分で考えて、自分の力で解決することのできる児童の育成を目指したい。
- ・体験活動を重視し、体験を通した学びによって身につけさせたい。

○年間行事予定（佐藤）

- ・「ふれあい交流会」「学習発表会」など地域の方々と交流できる行事を計画している。
- ・学校へ行こう週間などの時には、児童の様子を見ていただきたい。

※校長室での会議の後、学校評議員の皆様には各学年の学習の様子を参観していただき、児童と一緒に給食試食をしていただきました。

<学校評議員の皆様からの意見・感想>

- ・やませみの手伝いに入っているが、竹細工など子どもたちの自由な発想を生かした作品を見て、感動を受ける。藤野北の子どもたちにも、自然のものを利用し子どもたちの発想を生かした工作など経験させてほしい。
- ・最近の児童虐待のニュースなどを見るにつけ、学校で子どもたちの様子について細かく観察していただきたいと思う。特に、あざや傷については素早い対応をお願いしたい。
- ・子どもたちが地域に関心を持つために、以前おこなった地域の美化活動のようなものは計画できないか。
- ・友だち同士競い合う中で、相手のすばらしさに気づき、認め合っていけるような体験も必要なのでは無いか。是非そうした場の設定も考えていただきたい。
- ・子どもたちを温かく見守っていく雰囲気は地域の特性としてある。ただ、子どもたちが遊んでいる姿を見ることが少ない。人数が減っていることもあるが、ゲーム等で遊んでいることも要因では。
- ・外で遊ぶ経験を増やす一環として、地域にある施設を上手に利用することも考えられる。たとえば名倉グラウンドに有るクライミングのウォール等。
- ・子どもたちは毎日忙しいように見える。特に、休みの日にも習い事等でゆっくり休息が取れていないのでは無いか。



次回は2月初旬に開催する予定です。